

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
3度目の緊急事態が宣言されました。みなさまご無事にお過ごしでしょうか。
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動しています。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1 ゲノム編集高 GABA トマトについて

■ 1 ■ ゲノム編集高 GABA トマトについて

筑波大学発ベンチャーのサナテックシード株式会社は、血圧上昇を抑える作用を持つ機能性成分「GABA（ギャバ）」の含有量が高いトマトを開発し、家庭菜園向けにその苗を提供することを発表しました。インターネットからの申し込みを通じて栽培希望者を募り（すでに募集終了）、5月中旬から発送開始予定とされています。

この高 GABA トマト「シシリアンルージュハイギャバ」は、昨年ノーベル化学賞を受賞したゲノム編集技術「CRISPR/Cas9（クリスパー・キャス・ナイン）」を利用して品種改良されました。

ゲノム編集技術は、遺伝子进行操作する技術であり、本質は遺伝子組み換えと同じですが、現在日本の法律では、他の生物の遺伝子を導入せず遺伝子の働きを壊すだけの場合は、遺伝子組み換え食品の安全性評価の対象外とされ、届け出だけで使用できる状況になっています。

しかし、ゲノム編集技術はまだ発展途上の技術であり、たったひとつの遺伝子であってもそれを壊すことでその生命体にどのような影響があるのか、次世代以降に影響がどのように受け継がれていくのか、まだまだ未知数です。また、目的外の遺伝子を壊してしまう「オフターゲット」という技術的な問題もあります。

このようなゲノム編集技術で品種改良された苗を家庭菜園用に配布・販売することで、周囲のトマトと交雑して広がり、環境への影響や食品の安全性を脅かす可能性があります。「シシリアンルージュハイギャバ」は苗や果実を販売する際にはゲノム編集技術を利用したことが分かるようにマークを付けて販売するとしていますが、交雑してしまえば管理は不可能です。

これまで実用化されたゲノム編集食品は、米国の高オレイン酸大豆と、この高GABAトマト、世界でもこの2種類だけです。そして、これまで食用の遺伝子組み換え作物が栽培されていない日本で、ゲノム編集作物が先に栽培されようとしている現状なのです。私たちの身近な環境にゲノム編集作物が迫ってきています。

遺伝子組み換え食品については不十分ながらも表示義務がありますが、遺伝子組み換えの種子や苗には表示義務がありません。ゲノム編集された種子や苗にも表示義務はありません。国内でゲノム編集作物が栽培されようとしている今、生産者が種苗の選択をするためにも、表示の義務化を求めようという署名も始まっています。

<https://www.gmo-iranai.org/?p=3449>

ぜひこの問題に関心をもってニュースなどをご覧ください。そして、生物がもともとつ能力を遺伝子を壊すことで働かなくさせることの影響を考えてみていただけたらと思います。

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元 : きゅうしょくカンガルー! (奈良の学校給食を考える会)

E-mail : oishiikyusyoku@gmail.com

facebook : <https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

事務局 : 生活協同組合コープ自然派奈良内 (奈良市今市町 40-1)
